

令和4年 3月22日

豊水小学校保護者 様

玉名市立豊水小学校

校長 木場 秀敏

令和3年度 後期学校評価（保護者アンケート）の結果について

陽春の候、豊水小学校保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。後期の学校評価保護者アンケートについてご回答いただき、大変お世話になりました。全保護者からご回答いただいたアンケート結果を集計・分析し、今年度の後期学校評価としてまとめましたのでお知らせします。なお別紙に各質問項目の結果（平均得点及び肯定的回答比率）を掲載しております。

○保護者の評価から見てきたこと【課題と改善点】

アンケートは4段階評価ですので、得点においては2.5以上、肯定的評価においては80%を「良い評価」と考えています。まず、得点から見ると、29項目中27項目が3.0以上であり、29項目の得点の平均は3.3と高い得点でした。また、「4」あるいは「3」と回答した肯定的評価の比率から見ると、29項目中20項目が90%以上であり、全29項目の平均は90%でした。これらのことから、全体的に「良い結果」と判断できます。

特に「お子さんは毎日楽しく元気に学校に登校していますか」という項目について、前期同様3.5という高い数値が得られており、児童アンケートにおいても同様の質問に対し3.9が得られていることから、学校生活を楽しく過ごすことができていることを児童・保護者とも実感されていることがわかります。しかし、子どもたちの様子を見てみると、登校しぶりが懸念される子どもたちも少なからずおり、職員間の情報交換や共通理解、支援委員会の開催、保護者、関係機関、スクールカウンセラー等との連携により、不登校対策に向けて未然防止に向けた対策を継続していかなければならないと考えます。

さらに、学校全体における取組に関する質問項目（19～29）については、どの項目も3.2以上（平均3.36）の高い得点であり、「信頼される学校づくり」という観点においては、保護者から学校に対して信頼を得られていることが推測できます。特に学級・学校だよりや安心メール・ホームページ等による連絡・情報発信に関する質問項目については全項目中最も高い数値（3.6）であり、学校からの情報発信に関して保護者・地域の関心が高いことから、今後も学校からの情報発信をより充実させていかなければならないと考えます。

しかし、前期と比較すると、得点においては29項目中12項目が、肯定的評価においては29項目中15項目が、わずかではありますが低下しており、今後の課題であると考えます。特に下記の2項目が、得点において3.0及び肯定的評価比率70%を下回っている項目でした。

○「4. お子さんは進んで読書をしていますか」

得点:2.9(前期比較+0.14) 肯定的回答:64%(前期比較+8%)

○「5. お子さんはテレビやゲームなどの時間・家庭のルールを守っていますか」

得点:2.8(昨年度比較+0.08) 肯定的回答:64%(前期比較+2%)

前期の保護者アンケート結果から引き続き、「テレビやゲームなどの時間・家庭のルール」そして「読書」については、本校の課題の一つです。これは後期の児童アンケートによる評価結果にも表れており、児童、保護者とも課題として捉えられています。また、読書においても本の貸出冊数や量、児童が選ぶ本の内容・質ともに大きな個人差が見られます。図書担当や図書室補助員、そして担任が連携して読書活動を推進してきました。年4回のノーメディアデーの実施や読書活動推進のためのさまざまな取組により、得点は3点未満とはいえ前期よりも向上している点はプラスに受け止め、今後もより工夫し

た取組を引き続き行ってまいります。さらに単に図書貸出冊数の比較だけでなく、学年に応じた選書の質や内容についての指導・支援も必要です。今年度もコロナ禍の影響により不要不急の外出自粛などで家庭で過ごす時間が多くなり、テレビやゲームに費やした時間が増えたものと思われますが、再度ご家庭でも「豊水っ子ゲーム・インターネット・スマホ利用5ヶ条」及び各ご家庭での決められた時間・ルールをご確認いただき、節度ある生活が送れますようご協力をお願いいたします。

また、自尊感情、自己有用感に関する項目(項目16・17・18)の得点を見ると3.0以上とはいえ、他の項目と比較すると得点は低く、「自分に自信が持てない」「人前での表現が苦手」といった気持ちが子どもたちにも感じられます。ティーチャーズ・トレーニングの手法をさらに活用し、子どもたち一人一人を認め、褒め、励ましていくことをベースに、また地域や他校との交流を重ねることで集団の中で自尊感情・自己有用感を育めるような対策を今後も継続していかねばならないと考えます。

自由記述欄において、学校へのご意見、ご感想を2件いただきました。ご意見の全てを職員で確認し、できることから前向きに検討し、取り組んでいきたいと思います。

◆体操服のゼッケンは枠を縫ってあるタイプに変更してほしい。

○現在配付しているゼッケンは、ご指摘のように布の周囲がほつれやすい状態ですので、枠が縫ってあるタイプに変更していきたいと思います。貴重なご意見、ありがとうございました。

◆毎日楽しく学校へ登校してくれることが何よりありがたいです。

○子どもたちが毎日楽しく登校してくれることは児童、保護者、職員、地域の方々・・・の一番の願いだと強く感じています。コロナ感染拡大に伴い、さまざまな制約がある中での教育活動でしたが、子どもたちが学校生活を楽しく思えるように、学力向上対策、いじめのない学校づくり等をより推進してまいります。

保護者の皆様方からご回答いただきました学校評価から、本年度の取組を基本路線として更に徹底した取組を行い、もう一段上の向上(レベルアップ)を目指します。次年度への展望として、児童・保護者・学校運営協議会委員・教職員のそれぞれの学校評価において、成果と課題として見えてきたことの中から、次年度は次の内容について重点的な取組を行いたいと考えます。

- 1 適切なメディアの時間及び家庭学習の定着が充実するよう保護者と連携を深める。
- 2 学習規律の定着のための指導を徹底し、より個に応じた学習指導・支援を行う。
- 3 自己肯定感の育成のための「認め、ほめ、励まし、伸ばす教育」を推進する。
- 4 地域学校協働活動推進員をより活用し、地域と共にある学校づくりを推進する。
- 5 タブレットやICT機器の活用により、充実した授業づくりを推進する。

本年度から本校でもコミュニティ・スクールが導入されました。次年度はより活動を充実させ、学校運営協議会や地域学校協働活動推進員と連携し、PTAを中心とした活動・研修等を重ね、家庭と学校、地域一体となった教育活動に取り組んでいかねばならないと考えます。今後もより高いレベルで教育活動を充実させることが重要ではありますが、コロナ禍は未だに終息しておらず、来年度も児童の命・健康を第一に優先しながら、ウィズコロナの中でできることを模索し、さまざまな教育活動を工夫しながら実践していきます。また子どもたちが成長している姿や、学年だより、学校だよりの配付やホームページの定期的な更新による情報発信などを通して、保護者・地域からより高い評価をいただけるように、学校総体として取り組んでいかねばならないと考えます。

*皆様のご支援、ご助言等今後もよろしくお願いいたします。ご協力、ありがとうございました。

*全アンケート調査結果は、豊水小学校のホームページに掲載いたします。